

山形県「社長年齢」分析調査（2024 年）

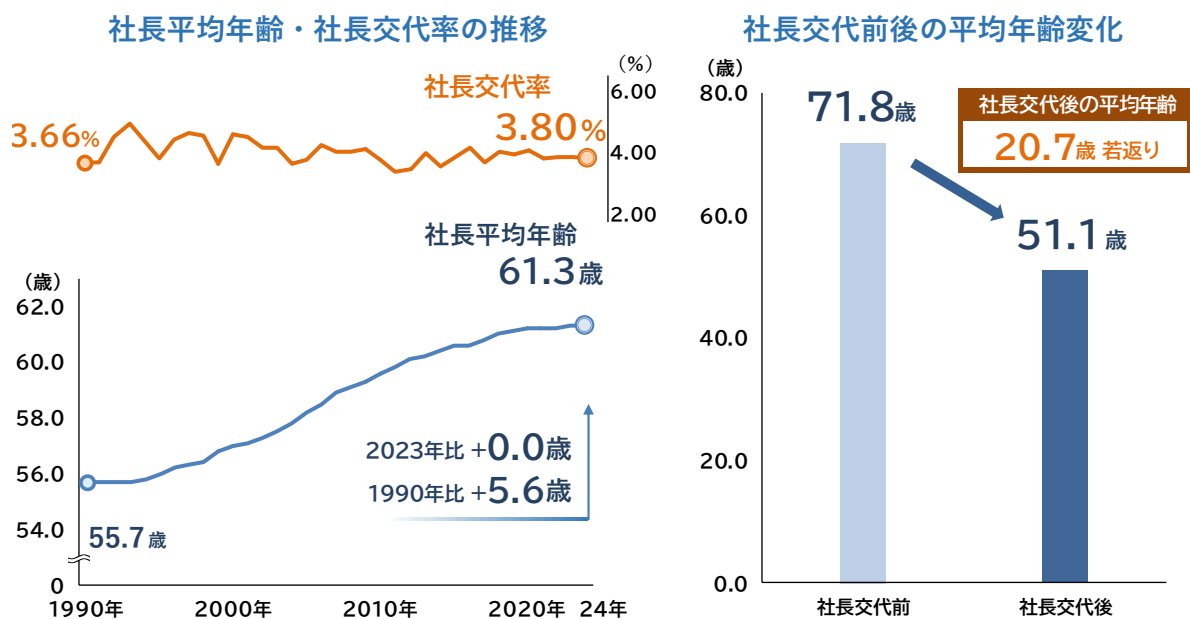
社長の平均年齢、61.3 歳

連続上昇はストップも過去最高が続く

～ 社長の 8 割以上が「50 歳以上」、全国では東北地方で顕著 ～

「団塊の世代」の多くが後期高齢者に達し、事業承継の課題が一層深刻になるといわれている「2025 年問題」の当該年となった。

帝国データバンク山形支店が実施した調査では、2024 年における山形県の後継者不在率は改善傾向が続き過去最低の 44.3%となった¹。しかし、円滑な事業承継には中長期的な準備期間が必要であるが、足元では社長の高齢化には歯止めがかからない状態が続いている。そこで、帝国データバンク山形支店では、山形県の社長年齢について調査した。



調査結果（要旨）

- 2024 年時点の社長の平均年齢は 61.3 歳。前年比横ばいとなり、前年までの 30 年連続の上昇に歯止めがかかったが、過去最高が続いた。
社長が交代した割合は 3.80%、前年から微減で 4 年連続の 3% 台。
- 「50 歳以上」の社長は 8 割以上、「40 歳未満」の若手社長は 2.5%にとどまる。

■ 本調査では、企業概要ファイル「COSMOS2」（約 149 万社収録）から 2024 年 12 月時点における企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した。

¹ 帝国データバンク山形支店「山形県「後継者不在率」動向調査(2024 年)」2024 年 12 月 12 日発表

社長年齢は 61.3 歳、過去最高が続く

山形県の社長平均年齢は、2024 年時点で前年比横ばいの 61.3 歳となった。

前年までの 30 年連続の上昇はストップしたものの、過去最高が続いた。社長交代率は 3.80% となり、2 年連続で低下した。

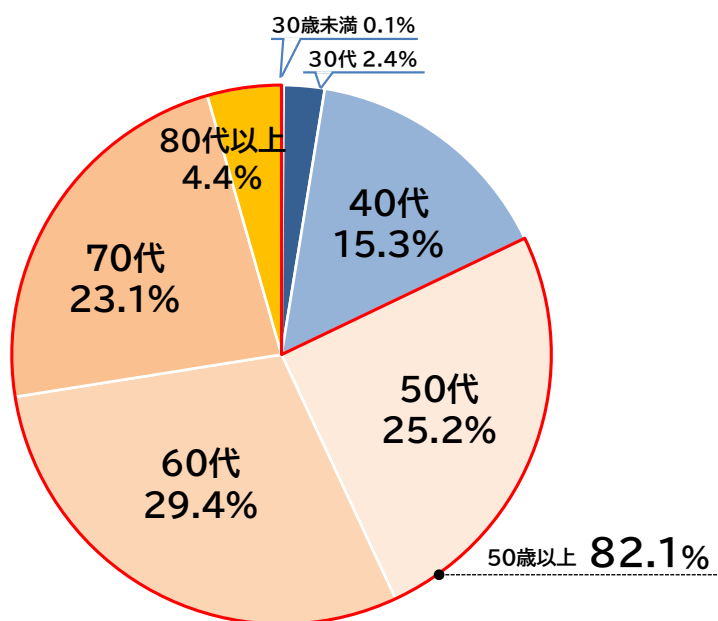
また、社長が交代する際の年齢は平均 71.8 歳で、前年（71.3 歳）を 0.5 歳上回った。社長交代後の新社長の年齢は 51.1 歳で、社長交代によって平均 20.7 歳若返った。

年代別構成比、「50 歳以上」は上昇し 82.1%に

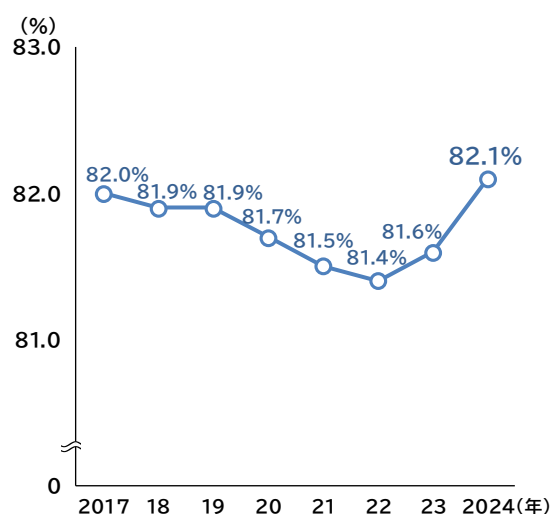
2024 年時点における社長の年代別構成比をみると、「50 歳以上」が 82.1%を占めた。2024 年はいわゆる「団塊ジュニア」世代の多くが 50 歳を超える時期であり、2 年連続で上昇が続いた。また、「60 歳以上」で区分しても 56.9%と半数を超えている

加えて、「30 歳未満」は 0.1%、「30 代」は 2.4%にとどまり、30 代以下の社長は全社長の 2.5%に過ぎない。近年はスタートアップなど新興企業を中心に若手経営者に注目が集まり、例えば全国の事例ながら 2024 年はタイミー（東京都港区）の小川嶺氏が、当時 27 歳で東証グロース市場に上場を果たしたことで話題となった。しかし、山形県においては、社長の高齢化が進行しているのが実態である。

社長の年代別構成比



社長が「50 歳以上」の割合（各年推移）



業種別では、「建設」が最も低い

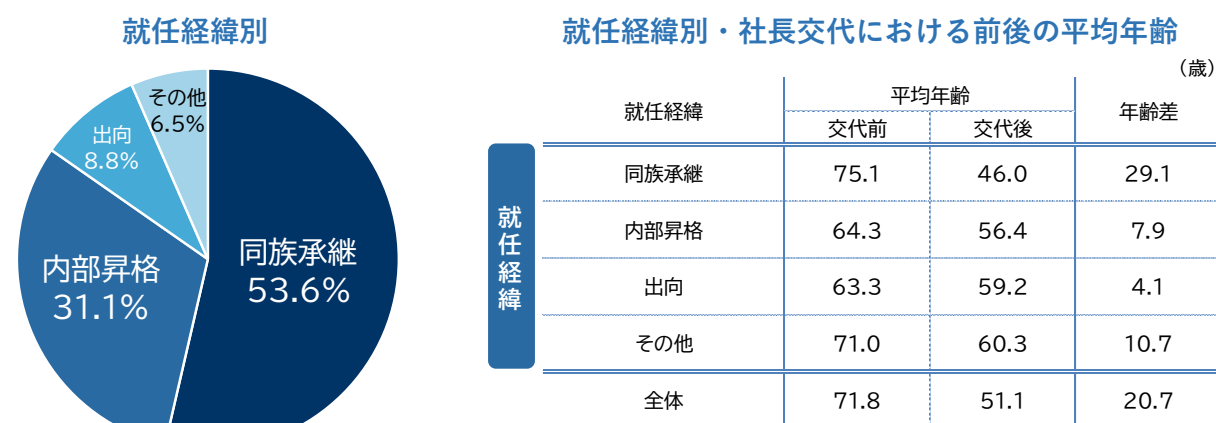
社長の平均年齢を業種別でみると、「不動産」が 65.4 歳でトップだった。また、「運輸・通信」（62.3 歳）や「卸売」（61.8 歳）、「小売」（61.6 歳）が平均を上回る高水準だった。

一方、「建設」は 60.6 歳となり、「その他」を除く業種別では最も若くなったものの、60 歳を下回る水準には至らなかった。

社長平均年齢・業種別（年推移）

	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2024	対95年比
全体	56.0	57.0	58.2	59.6	60.6	61.2	61.3	+5.3
建設	55.0	56.0	57.6	58.7	59.7	60.4	60.6	+5.6
製造	56.4	57.4	58.4	59.9	61.1	61.2	61.0	+4.6
卸売	56.4	57.4	59.0	60.4	61.1	61.6	61.8	+5.4
小売	55.8	57.2	58.3	59.8	60.8	61.3	61.6	+5.8
運輸・通信	57.5	57.5	58.6	59.7	60.9	61.2	62.3	+4.8
サービス	55.8	56.8	57.9	59.4	60.3	61.1	61.0	+5.2
不動産	58.5	60.0	61.5	62.6	63.1	64.8	65.4	+6.9
その他	58.6	58.4	59.1	59.3	60.3	60.2	60.3	+1.7

交代した社長の就任経緯、同族承継と内部昇格が多くを占める



※「全体」は2024年の社長交代企業を指す

交代した社長の就任経緯を分析すると、「同族承継」が 53.6% で最も高く、「内部昇格」が 22.5pt 差の 31.1% で続いた。「出向」は 8.8% だった。

就任経緯別に社長交代前後の平均年齢をみると、「同族承継」が交代前の平均年齢では 75.1 歳

で最も高く、「出向」が 63.3 歳で最も低かった。

交代後では「その他」が 60.3 歳で最も高く、「同族承継」が 46.0 歳で最も低かった。交代前と交代後の年齢差で見ると、「同族承継」が 29.1 歳で最も開きが大きく、若返りが大幅に進んでいる。

（参考）都道府県別 秋田県と岩手県が 62.6 歳でトップ

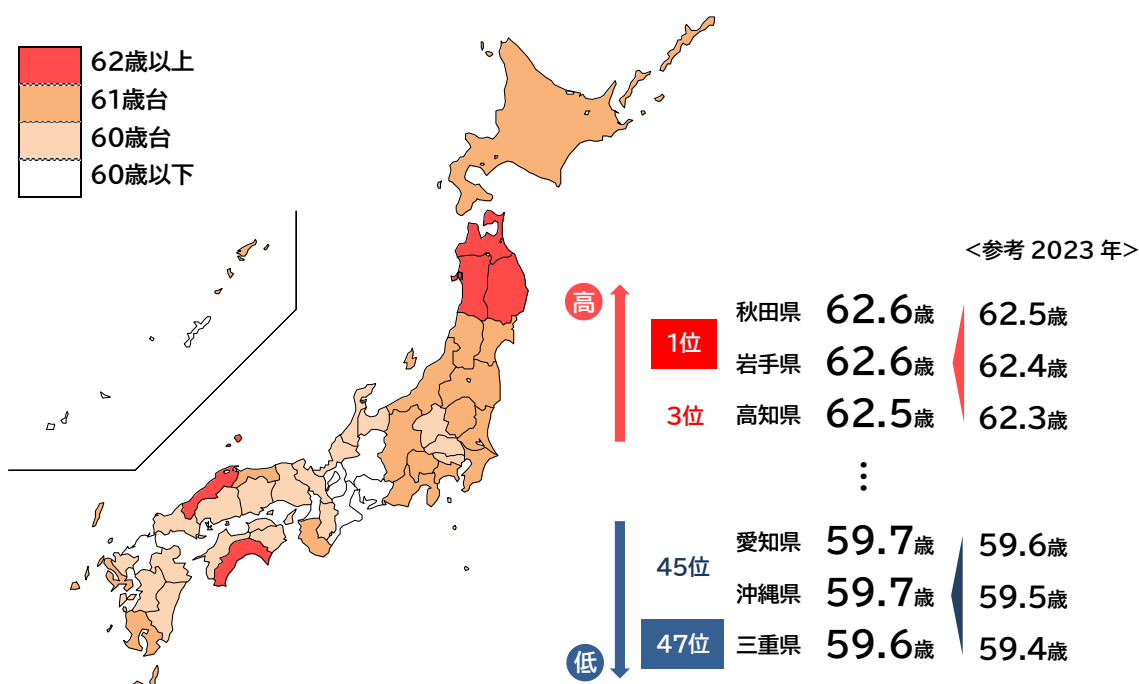
都道府県別で見ると、秋田県（2023 年比+0.1 歳）と岩手県（同+0.2 歳）が 62.6 歳で最も高かった。

岩手県は、5 年ぶりのトップとなった。次いで、高知県（62.5 歳、同+0.2 歳）、青森県（62.3 歳、同+0.1 歳）が続いた。とりわけ、山形県を含む東北地方の 6 県がすべて全国平均（60.7 歳）を上回り、社長の高齢化が顕著である。

一方、最も低かったのは三重県の 59.6 歳（同+0.2 歳）で、8 年連続で最も低かった。その他、愛知県や沖縄県（いずれも 59.7 歳）など、60 歳を下回ったのは 7 府県だった。総じて、都道府県別の社長平均年齢は「東高西低」の傾向が強い。

なお、47 都道府県のなかで社長平均年齢が前年から低下したのは、熊本県（60.1 歳、同-0.1 歳）と大分県（60.3 歳、同-0.1 歳）の 2 県のみだった。同横ばいは 4 県だった。

都道府県別 社長平均年齢



高まる「社長の高齢リスク」、事業承継への早期着手が焦点

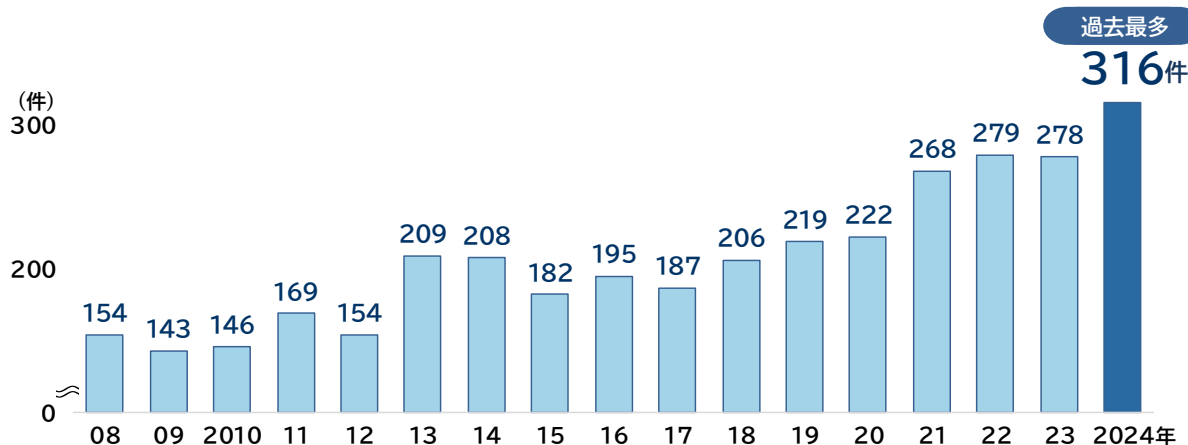
山形県の社長の平均年齢は 61.3 歳となり、前年と横ばいとなったが過去最高が続いた。社長交代時の若返りによって、高齢化傾向には一旦は歯止めがかけられたが、社長が「50 歳以上」である企業の割合は引き続き 8 割を超えるなど、「社長の高齢化」が今もって深刻と言わざるを得ない。

業種や地域による温度差も見られ、東北など地域によっては、さらに高齢化が進行している実態も明らかとなった。直近では社長交代率が低水準にとどまっており、当面は社長の平均年齢が上昇し続ける可能性は否めない。

2019 年、中小企業庁は「2025 年までに 70 歳を超える中小企業・小規模事業者の経営者は約 245 万人となり、うち約半数の 127 万人が後継者未定」²との試算を発表しているが、鈍化する社長交代率を背景に平均年齢の上昇に歯止めがかからない。今後は事業承継が進まずに事業継続を断念せざるを得ないケースがさらに増加する可能性がある。

こうした結果の一つとして、「経営者の病気・死亡」による倒産が増加している³。2024 年には全国で 316 件判明し、過去最多の件数を記録した。社長が高齢になれば「不測の事態」が生じる可能性は高まり、企業経営にも重大な影響を及ぼしかねない。社長の高齢リスクが高まるなか、十分な期間を設けた事業承継の実施に向けた周到な準備が求められる。

（参考）「経営者の病気・死亡」による倒産の件数（全国数値）



【 内容に関する問い合わせ先 】

株式会社帝国データバンク 山形支店 担当：佐藤 剛喜

TEL 023-622-4301 FAX 023-622-4415

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

² 中小企業庁「中小企業・小規模事業者におけるM&Aの現状と課題」P1より

³ 帝国データバンク「「経営者の病気、死亡」倒産動向調査」2025 年 2 月 10 日発表